

審 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)

1. 開 会 【事務局】

2. 委嘱書交付 【机上交付】

3. あいさつ 子育て支援課長兼児童館長 西山 健吾

4. 会長あいさつ 会長 黒田 睦美

5. 議 事

① 令和5年度事業報告について【事務局：資料3ページから10ページを説明】

② 令和6年度事業計画について【事務局：資料11ページ、12ページを説明】

【運営委員】児童館は予約制でなく自由に足を運べるのが良いところだと思っています。
氷上地域だけでなく、是非とも市内全域から多くの方々に児童館を利用して欲しいです。

【運営委員】児童館事業では参加者が住んでいる地域に偏りはありますか？

【厚生員】事業の開催場所から見て遠方の地域からの参加者も多くあり、様々な地域の方々が集まって事業を行っています。事業を通じ、普段は接することがない他の小学校区の参加者同士での交流も図れているので、市民交流の場としても広域的に児童館を活用いただいていると思います。

【運営委員】令和5年度の児童館事業は、少人数での開催や不開催の事業もありましたが、令和6年度は定員いっぱいでの開催が続いているとのことで、子ども達や保護者のニーズに即した内容の事業が展開できているのだと思います。児童館に対する期待値が高まっているのは嬉しい反面、児童厚生員の皆様におかれましては少人数での運営で苦勞されていると思います。

【事務局】現在、児童館は児童厚生員2名で運営しており、シフトの関係上どうしても人手が足りない場合は、スポット職員の方に頼っている状況です。安定的な児童館運営のためにも、引き続き早期の人材確保に努めて参りますが、児童厚生員は保育士等の有資格者でなければならないため、なかなか新規採用に向けて応募が無いのが現状です。

【運営委員】ボランティアでも教育の現場に携わりたいと考えておられる方が、地域には多くいらっしゃると思います。そのような方々の力をお借りするのも良いと思います。

【運営委員】児童館事業の小学校からのご案内は、以前はチラシで行っていたと思いますが、現在はメール配信に変わっています。ペーパーレスの観点からの変更と思いますが、チラシだと目に付いていたものがメール配信では多くの情報の配信もあり、せっかく子どもが関心を持ちそうな事業でも、保護者が見逃してしまうことがあります。児童館からのご案内だと一目で分かるように、配信の仕方を工夫して欲しいです。また、小学校によってメール配信のタイミングが異なるので、配信と同日からの申込開始では不公平感があります。小学校からのメール配信から、少し期間を空けて申込開始にしてほしいです。

【事務局】分かりました。次の事業から配慮するようにします。

【運営委員】児童館は圧倒的にリピートでの利用が多いと思います。一度、児童館に遊びに来た子ども達は、児童館が楽しい場所だと分かるとまた遊びに行きたいと思って何度も利用しているケースが多いですし、保護者の方も一度来館されたら安心して子どもを送り出せるようになります。また、児童館事業においても、何年も続けて参加いただいているご家族が多くいらっしゃいます。そのように「児童館に遊びに行きたい」「児童館事業に参加したい」と思っている方々にこそ、児童館からの情報が真っ先に届くようになって欲しいです。

【事務局】いわゆる児童館の「ファン」が新たな利用者を引き込んで、口コミで児童館の魅力が伝わっていくのが最も良いPR方法だと思います。これからも「ファン」は大事にしていきたいですし、増やしていきたいです。利用者目線に立った情報発信となるよう、引き続き検討したいと思います。

③ その他

【事務局】令和6年8月9日（金）に「夏の星空観察会」を予定しています。昨年の募集定員30名から45名に増やしたうえでの開催となります。直近の事業が申込開始からすぐに定員に達したことを受けての変更で、1人でも多くの子ども達に参加して貰いたいと考えております。運営委員会の皆様におかれましても、お時間の都合がよろしければ、是非ご参加いただきたいと思います。

6. 閉会